

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
赤川 隆洋			
月1			
添付ファイル			

科目の概要	小学校では、次年度より新学習指導要領が全面実施される。その趣旨及び算数科の目標や各学年のねらいを知り、必要な知識や技能の確かな指導、主体的・対話的で深い学びの指導ができる力を身に付ける。各学年の具体的な学習内容に触れながら、教材教具・ワークシートづくり、発問の仕方、板書計画、評価などを学び、指導案作成、それに基づく模擬授業も行い、実践的な指導力を培う。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション 新学習指導要領の趣旨 「生きる力」についてまとめておくこと。 テキストP1～5を読み、改訂の基本方針をまとめておくこと。</p> <p>第2回 新学習指導要領における算数科の目標、各学年の目標及び内容 テキストP21～22、P30～31を読み、算数科の目標を捉えておくこと。 テキストP12～15を読み、各学年の学習内容を概括的に捉えておくこと。</p> <p>第3回 「数と計算」領域の指導のあり方1 (数概念、計算の意味、概数) テキストP181～201を読み、4年生の学習内容を捉えておくこと。</p> <p>第4回 「数と計算」領域の指導のあり方2 (式の表現と読み)</p> <p>第5回 「図形」領域の指導のあり方1 (図形概念、図形の性質) テキストP248～261を読み、5年生の学習内容を捉えておくこと。</p> <p>第6回 「図形」領域の指導のあり方2 (角、図形の計量)</p> <p>第7回 「測定」領域の指導のあり方 (長さやかさの単位) テキストP122～125を読み、2年生の学習内容を捉えておくこと。</p> <p>第8回 「変化と関係」領域の指導のあり方 (割合の指導) テキストP261～270を読み、5年生の学習内容を捉えておくこと。</p> <p>第9回 「データの活用」領域の指導のあり方1 (測定値の見方、平均) テキストP306～312を読み、6年生の学習内容を捉えておくこと。</p> <p>第10回 「データの活用」領域の指導のあり方2 (表とグラフ)</p> <p>第11回 数学的活動について テキストP6～29を読み、数学的活動についてまとめておくこと。</p> <p>第12回 授業の実際：指導案、教材教具、ワークシート等 どのような自作教材を制作するのか考え、必要な物品を準備する。</p> <p>第13回 授業づくり1(発問の仕方、板書計画) 学習指導案作り(グループワーク)</p> <p>第14回 授業づくり2(模擬授業と協議) 作成した指導案に基づく模擬授業</p> <p>第15回 算数指導上の留意事項(UD, ICT) 振り返り</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>①新学習指導要領の趣旨を理解する。</p> <p>②算数科の基本となる指導、主体的・対話的で深い学びの指導ができる力を付ける。</p> <p>③教科の内容や目標を理解し、発達段階に応じた授業設計ができる。</p> <p>④教材分析を行い、指導案作成、模擬授業をとおして実践的な指導力を身に付ける。</p>
授業の方法	<p>【授業形態】 講義形式</p> <p>【アクティブラーニングの取り入れ状況】 第3・5・7・9回の授業は、学習した領域における模擬授業の計画をグループで話し合う。 翌回の授業は、話し合った授業構想に基づき、代表者による模擬授業を実施し相互評価を行う。</p>
成績評価の方法	授業意欲・態度10% 提出物20% 学習指導案作成20% 定期試験50%
教科書・テキスト	小学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 算数編

参考書	授業時に必要があれば紹介
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	授業内容の復習・準備、課題についてのレポート作成
履修上の留意事項	特になし
オフィスアワー	授業終了後に講師控室へ
担当教員への連絡方法	教務課に申し出ること
その他	